御家人先祖由來記

全

680
コ
9

御家人先祖由来記 全

傳記
一
六
一八五

680
コ
9

680
コ
9

1860

御家人先祖由来之記月録

足田三左衛門　足田源右衛門之父

浦上孝之丞　三左衛門之兄

赤座吉之丞　月成茂右衛門

[illegible]　久留米右衛門

弟　二右衛門　加藤[illegible]

大音孝右衛門　毛利長左衛門

馬杉孝左衛門　[illegible]

足田想右衛門　[illegible]

浅山清之丞　竹田西之丞

[illegible]　足田八九郎

[illegible]　足田市右衛門

[illegible]　[illegible]

[illegible]　吉田七右衛門

[illegible]　吉田久右衛門

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

那珂郡
松山領内
江木七郎三清
之花小内
模　想右文
加藤弓内
小林四郎内
竹中半右文
三宅八内
小河武兵衛

林六郎
村山角内
山脇弥内
萩角内
長村伝右文
岩田源内
佐久八郎
竹中久内
梶原十郎
文内内

三郎十内
松井源内
三浦十郎
塙右衛門
岡田孫内
吟人吉内
田中忠内
岡清内
野崎左之丞
野村三郎清

竹村九郎
松本源内
元利長兵衛
林　平兵衛
明石助内
小河八郎内
内藤十内
佐藤内
大高内
加藤内

新橋十内
三浦孫内
小河十郎
中村新兵衛
吟人九郎内
岡代内
河村伝内
花房三内
大高十内
木附三郎内

[illegible]
庄屋内
元利長兵衛
元利平兵衛
牧　作兵衛
久世半三郎
松下伝内
花房傳内
長文村治内
河村内

前田修理亮
山崎修理亮
大谷原右衛門
縣　久左衛門
長谷川平大夫
宮崎左兵衛
津田助兵衛
赤尾重左衛門
真柄善四郎

合百十二人

光之公御隠居被召仕候
月番十郎兵衛　三尾四郎左衛門　藤井勘左衛門
板谷金四郎　岩瀬左兵衛　元忠左衛門
横尾十郎左衛門

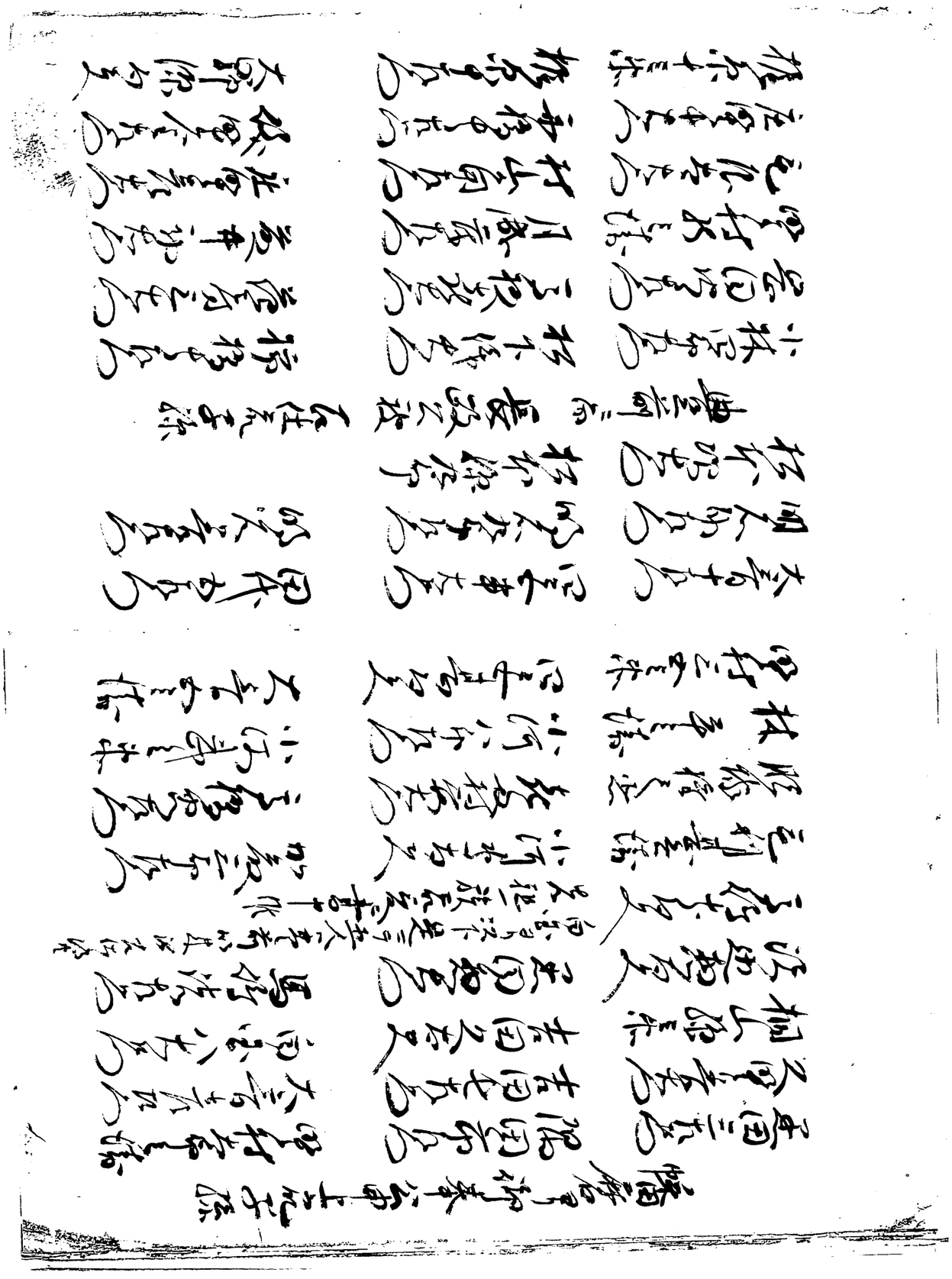
合七人

都合百十九人

右者　如水公長政公御代被召仕候
御家人迄之上書中作

[illegible]
海津修理亮
丹　[illegible]
[illegible]
元村[illegible]
[illegible]
板山[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]



流前三郡　長政公上総　正光代元子孫

正田右馬丞　浦上長左衛門尉　元和郡内

郡　西尾丹後守　加藤出羽守　元和郡内

永井信濃守　月岡出羽守　元和郡内

元和長大和　三浦長左衛門　元和郡内

三浦長左衛門　三浦小右衛門　元和郡内

竹中久兵衛　郡　内藤左京亮　元和郡内

竹田五郎兵衛　竹村九郎兵衛　元和郡内

竹村伝右衛門　竹村九郎兵衛　元和郡内

山脇長兵衛　加藤九郎兵衛　丹波守　元和郡内

本郷三左衛門　大橋中左衛門　板山清兵衛

[illegible]　[illegible]

忠之公ヨリ御奉公申上ル元子孫

[illegible]　[illegible]　田中宗左衛門

[illegible]　[illegible]　[illegible]山清兵衛

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　板山[illegible]

[illegible]　[illegible]　林[illegible]

[illegible]　[illegible]　浦田郡兵衛

[illegible]　[illegible]　[illegible]

山田[illegible]　山脇[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

御家人先祖由來記

足田二郎

鵜飼卯すく時ゝ名主杉ト申ハ中沈これたゝト申ハ荒
前ニ[illegible]ト改院[illegible]利[illegible]ニ鵜飼ト号ス[illegible]
か藤也ニ[illegible]又かゑ又なゝ[illegible]ハ摂利住人ニ伊井兵庫頭
一説ニ信長公より荒木村重ニ村井の国[illegible]
国中ノ士落荒木ニ従テ伊井兵庫頭モ荒木旗下ト
居セシ故か[illegible]又なゝモ又荒木ニ従フ天正六年荒木
村津ゟ信長公ニ謀叛ノ中人有シ故孝高ゟ出家ス[illegible]
荒木[illegible]村別伊井屋有忠城ニ入[illegible]別荒木

同心セシニテ布ヲ孝高公ヨリ城中ニ拵ヒ獄ニ為メテカヘ申ス也
同孝高公久敵御非御御客ヲ時賜ヒ又ハ孝高
公ヨリカクイタワリ奉ル孝ヲ感ジ是ヲ感ジ同ジ其方ヒ
度ノ言方志御方々ヲ笑ヒ乗運ヲヒラキ申ス慈ヒ国ニ帰
十八其方子二人ヲ拵ヘ申ス御子松寿丸トシテ生ル育スベシト
申契約ヲ為ス天正七年信長ヨリ有異城ヲ攻
落城ノ後孝ヲ御運ヲ同キタセウ此時玉松
九歳ニ成リ筑前ニ御来ニ付テ孝ヲ公ヘ乗ヲ
是ヲ御世話ヲ申上ル三ヶイタワリ必ス 長政公ヨリ
三歳ヲ限リ養ヲ天正十二年玉松十四歳ニテ泉州岸和
陣ニ長政公出代ヲ仕ル是初陣ニ其後日本朝鮮ニテ
所々御陣ニ孝ヲ長政公御伴ヲ仕ル名ヲ
御出代ヲ仕ル中豊前城井谷ニテ 長政公御命ニ
代ヲ仕ル下ヲ元ヲ朝鮮ノ渡ル金海城貴
之ヲ一番乗仕ル其後道ニテ敵ノ大軍ヲ引受ケ
敵ニ向ヒ其ヲ長ヲ年 長政公伴ニテ筑前
川ノ先陣仕ル主君ノ名ヲ名乗ヲ又ヲ自川向リ
敵ノ陣ノ三ヶ所ヲ仕ル敵ヲ打ル上ヲ敵ヲ
討ル 忠之公代ニ家老職相勤ル寛永
十四年ノ冬肥前島原ノ出陣仕ル付 忠之公

江戸に於て御座候家より物人数不出候間
先度軍事有之三月の初早々浦賀へ下り者に来
国共戦を切り天に登り一人にて浦賀へ乗込れと
仕候節は六十八歳にて三月中旬浦賀へ乗込
先度共に重き城責に御座候　忠之
御代陸奥仕る白陸奥領千石先代は鳴海平七
武功多り候　如水公鳴海又市郎未だ子供にて
有之候に付　忠之公に仕り　忠之公に仕り
一両人に成る代に成る明暦三年八十六歳福岡にて
病死仕る鳴海死後陸奥領内六百石　光之公より
後室に成下れ後室に成り子供なし
下れ鳴海四男子に成り　光之公より
先代に子三人有之　鳴海世子　子に外孫三人
弟に成る　何も石に成下れ　光之公御代内家
老職に御有之　浦賀陣に大江より一番に乗込
一人討死　弟に御仕る　御番頭
忠之公御感状に成下れ　光之公御代初　千石遠慮
に成下れ　鳴海子　今三人　世話中に成り
鳴海より　今三人と三代に御座候

足利氏の家人
三河勢の起り

其先祖三河の人本姓は丹治元は當国の地士にて糟屋弥一郎野城主の屋敷今に在之皮田領知す故に藤原三河と称す三河道を学ぶ為り三河城に移り村上旗下に属し武功多し道を以て家を立つ子孫代々柳川に住す代々柳川に住す代々武勇の誉れ有り用之三河に戦死す天正十五年秀吉公九州下向の時花押を賜り三河守と称す伏見に於て秀吉公に謁す此時秀吉公の仰せ有り三河の子孫は代々柳川に住す

秀吉公の命に依て三河守の家来に成り不日に進ぜ刑部卿の姓を賜ひ三河に帰り秀吉公に三河守に成り刑部卿の姓を賜ひ三河に帰り秀吉公に謁す

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

和父ノ孫内三郎ト云フ者ニテ
侍ニ召サレモ織ル

隅田市左衛門

先祖生田木屋ト申シ代々大猪進ノ日向ノ住人ニテ
ニ座敷大友家ニ居ス武弟ノ輔父ノ跡ヲ相続ス流
ヲ汲ム大友ヨリ領セシ所大友ヨリ出ル猪使ヲ毎度
ル所ヲ申シ出ル當国ニ猪ノ司トシテ代々ヲ受ケ
大友義鎮ノ時ニ肖キニカハ武弟ノ輔ニ人数ヲ指添テ
ヲ受ケ武弟ノ輔彼ノ人ヲ多クヲ指添テ
ヲ下シテ宿所ヲ日向ニ居ス後日向ニ
武弟ノ輔嫡子ハ木屋ノ市左衛門ト申シ
十六歳ノ時ニ侍小姓ト召サレ論ニ人ヲ切テ日向ヲ立退
行　孝ニ云ク市左衛門奉公ヲ切ル節切ル竜ヲ
少年ニテ日向ヲ立カラメ公事スリ入レ偏神ヲ
孝ニ云ク市左衛門感ズ則ち記録別ち生田ノ森ノ合戦ニ
孝ニ云ク市左衛門ハ辻斬ニ遭ヒ
ニ待ち受ケ所ニ出ル者ニ井ル名ヲ生田
ハ名ヲ木屋ト申シ代々ヲ指別ノ名ヲ生田木屋
ト申シ代々ヲ受ケ本屋ノ市左衛門ト
孝ニ　孝ニ云ク情別ち伯耆ノ住人ニ

一五日平泉ヲ出テ朝敵陣ニモ　長政公ハ佐竹普列　陳攻
之時ハ多ク負ヲカフリ手負射中タル後ハ陣ヲ引ケル
名仕ル事数度也　流れ矢ニ　国元ニ有之ル
浴ハ生捕家臣ニ人ヘリクタリ　和平ヲ乞ク武功ヲ
本ヨリ申故信ル　ヨハ　クヲ　ト　書ヲ　ハ市家ニテ
武功ノ名アル者ニテ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
中時本屋ヲ仰武功ヲアカリヤ　ト　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
是ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
感ヲ　ヲ　ヲ先祖ヨリ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
家康忠之ノ
治

秋田長右衛門

祖父長右衛門ハ元和保科弾正殿ハ市家人ニテ信州ヲ
ヲ　ヲ　ヲ弾正殿ノ仰長女殿　長政公ノ奥殿ニ
後ハ大源院殿ト申ハ市嫁ノ時附ヲ市家ヲ大望
仰ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
長政公ヨリ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
当国ニ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
元和元年　大源院殿市家ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
別ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ

大ニテ二百間ト称シ六十七尋ニテ流れ下リ利髮ニテ性安
ト号ス性安ニ子為ノ基ヲ為ス百石二男ヲ為ス八百
石三男ヲ為ス七百石ヲトルヲ為ス伊茂ヲ為ス時ヲ
基ヲ為ス　忠之公御代信濃国浅間郡佐久執権役ヲ
仰セ出サレ候ヲ為ス　光之公御代執権役ヲ
仰セ付ル　光之公御代執権役ヲ仰セ付ル
陸奥国宗徳ト申ス基ヲ為ス　よりて基ヲ為ス宗徳ヲ
今ノ世ニ伝ヘ世ニ名ヲ為リ伊茂三代成中作

月成義ヲ為ス

月成ヲ為ス　元ハ近江ノ住人ニテ三上氏ノ親族ニ後ハ
豊後国蒲生ノ城主ニ成ル　小田原ヲ攻ル人ト成ル
ヲ信長ノ侍ヲ為リ蒲生ノ陣ヲ為リ六万石ヲ領ス
長五千石ヲ為ス　信長ヲ補ル時小田原ヲ攻ル大坂方ニ
属シテ濃州大垣城ニ在ル　ヲ為ス蒲生城ニ
ヲ為ス小田原ヲ大垣ニテ討死ヲ為ス人下リケル　如水公
兵ノケトリヲ為ス　陣中ニ入ル小田原ヲ為ス
申シヲ為ス者ヲ降ス　ヲ為ス城ヲ為ス
小田原ニテ城ヲ堅固ニ守リ名リ　如水公御感ヲ為ス

時城中ニ上ル古門ニ下ル毛利
加ヲ以ヲ中ヲ以ヲ毛利随ヲ以リ中ヲ以ヲ
市正板倉家ヲ以ヲ安倉石ヲ以ヲ
以ヲ徳ヲ以ヲ今ノ義ヲ以ヲ三代ニテ伝ル

豊村市郎兵衛

市郎兵衛ハ元州但馬ノ生ニテ本姓ハ曽我ト申ス
慢ノ五ヲ以ヲ中慢ノ以リ　若ヲ以ヲ左仕京ノ
岸ノ間ニ外上方流ス朝鮮ニテ度ク武功ヲ
おヲ城井中穂ノ間ヲ切ヲ切ヲ以ヲ
中清ニテ病死ス年三十八ニシテ市郎兵衛慢州ニテ

生ル流前ハ公国ノ旗大将ト成ル又後ニ年人ト号ス
後度ハ清年ノ者ヲモ三ヲ　長政ハ朝鮮ハ渡
海ノ時市右十七歳ノ朝鮮渡ルヲ小合我ヲ
功ヲ以ヲ者ヲ度ヲ以ヲ在稷山ノ我ヲ唐人ヒヲ射
一ヲ打ノ時ヲ以ヲ方様ノ前ヲ出ヲ出ヲ
市ハ小作自見ヲ仕ヲ者ヲ長ヲ年豊後国石垣原合
戦ノ時井上九郎ヲ下大友ノ先陣吉弘加兵衛ト申ス合
スヲ以ヲ九ヲ所ヲ市右ノ力ヲ多リノ物引ヲ以ヲ中リ
働ヲ以ヲ首数二十七ヲ取ヲ以ヲ流ヲ市右ハ国後ヲ
那ヲ以ヲ六ヲ八百石ノ地ヲ下寛永八年ヲ十月ニ卒ス

死ス子孫系図ニ載ス
[illegible]ト号シ[illegible]
子孫[illegible]ニ[illegible]十六歳ニテ[illegible]年頃ノ出仕ヲ勤ル
病ヲ[illegible]ヨリ隠居ト[illegible]ハ遠世ト申シ遠世ヲ今ノ右京
ノ先祖右京ト号シ[illegible]ヨリ今ノ右京ト号シテ五代ナリ

久留米藤太

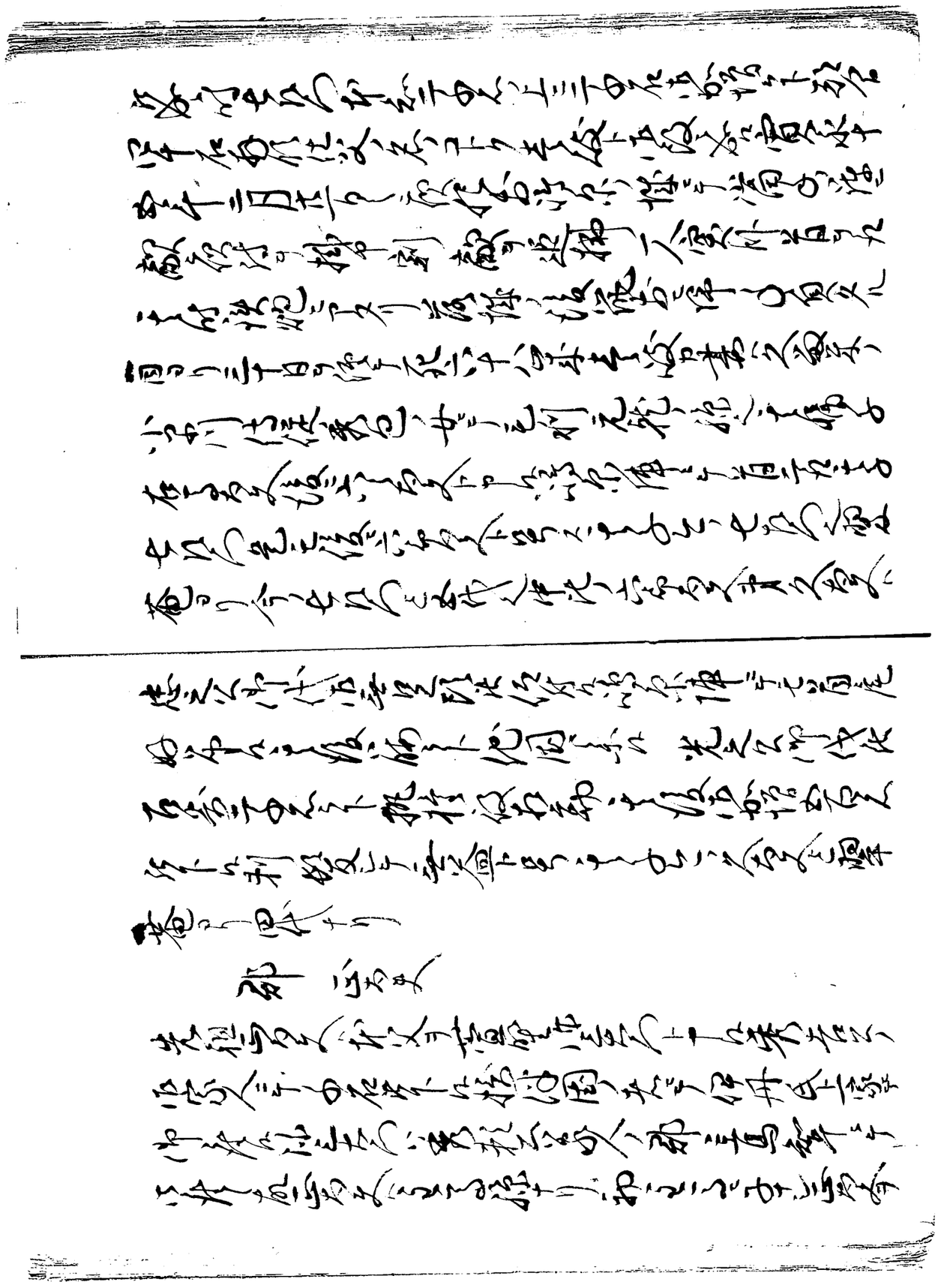
[illegible]清ハ備前国ノ[illegible]
ツトム備前指揮ノ城主ナリ天正十[illegible]年　春ニ公
[illegible]ニ[illegible]ト[illegible]小早川隆景筑前国拝領
[illegible]ル祖ノ地ヲ表ハシ[illegible]ハ京田信[illegible]城ヘ

春ニ公ヨリ仰同[illegible]ト[illegible]清ヲ隆景ニ[illegible]
[illegible]清ヲ祖ノ地ヲ一当[illegible]隆景ヨリ言上[illegible]
[illegible]ノ仰感[illegible]朝鮮陣ニ　長政公[illegible]
[illegible]ニ戦清ニテ[illegible]ヲ[illegible]日本朝鮮ニ
武功多ケレ[illegible]
嫡子[illegible]父ト同ジク[illegible]ヨリ父ノ死ニ後父ヘ
家人ヲ相[illegible]ヲ[illegible]軍役ツトム父ノ知行ヲ悉ク
[illegible]長[illegible]年[illegible]後体ニテ大友ノ家臣宗像掃
部ト戦テ[illegible]ル[illegible]歳十九ニテ[illegible]孫
[illegible]遠ニ[illegible]ト[illegible]ハ中比[illegible]

後外祖トヤ仁仰ケ国ノ後六子石ヲトリ足田英記等
ヘ陸奥利髮ニテト真トヲス完沃流長月ノ上ノ也
ト真馬ヨニテ足田英作ヲ子トナルニ寄ル
兵衛父ノ孫ヲ婿ノ早情花ニテ嫡子ニ仕ル父孫ヲト
早七歳ニテ死ニ寄ル仕ル中ノ孫ヲ
病ヲ来ル仕ル子ヲ英作ヲ中ノ孫ヲト
英ヲ世ヲ継ク九次第凡七代ヘ

吉田七郎
吉田久右衛

先祖寺殺和尚名ヲ仰中先六命ヲ受後寺殺ト申レ
陸奥ヲ住ス和尚ニテ物ヲ仕ル日本朝鮮ニテ対九ヘ
首級凡七十ヲ世俗ヲ読ヲ殺ニテ三ヲ殺ス首級
又九和ヘトヤナラハヘ仕ル情ニテ　英法寺藏陰
首級ヲ朝鮮ト云ハ八木百石ニテ首級ヲ長ヲ朝鮮
陣ノ時和尚奄上京ヲ於ヲ毎人ニテ一日ノ八リ定ル
和尚ヲ先ヲ和尚ノ後ニテ人ヲトル人ヲ
九年七十七四ヲ病ヲ来ル仕ル中先ヲ
日本朝鮮ニテ度ヘ合戦ヲ武功ヲ
長政ヲ市逝ヲ後前ノ命ヲ和尚ヲ



[illegible]

[illegible]

仕へ天正十五年日向陣に秀家の使として薩ト組に行
ヨトル中比小西摂津守に仕へ関ヶ原の戦功を小西閑
ケ原にて敗北の後　長政公に召出され知行五百石と
なり大坂陣に御供仕り寛永十年病死
嚴六十二歳より嚴二男に跡目仰付られ
子に嚴五男に嚴三男に嚴四男に
なり　光之公御代に御番頭三百石
百石にて御番頭に成り職節ゆえ
之圖書より今に至る迄代々也

大音長左衛門

先祖長左衛門儀別より出仕スル大男にて武勇
御座候　長政公御代當国にて八百石にて次男
六左衛門　光政公御代小身より出仕致し三百石
にて　忠之公御代隠し出仕致し御番頭の別ト
二百石にて御供仕肥後大坂御陣にて武功スル其外
首尾好に相勤候　綱政公御陣にて毎度御番頭
毎度仕り忠勤仕る
光之公御代初め百石の御番頭に八百石に成り
元禄十九年三十四歳にて御番頭に成り
長左衛門に父孫兵衛遠に中光に出仕名乗り

六百石ノ上段ヤハリ後陣奉行ニ成ル
三千石ノ内百石ヲ分ケ
元利長右衛門
元利又右衛門　長政公當國御入國ノ後ニ召出サレ
御側仕代官被仰付ル所ニ年月ヲ経テ御暇
被遣　忠之公ニ出仕ノ上六百石ヲ下サレ大小ノ
作合カ年ヲ下ルヲ世仕ヲ辞シ代被遣ル者ニ
被遣ル知行ノ内六百石ヲ下サレ大江作左
光之公御代ニ寛文年間ニ病死ス年齢
長右衛門　坂右衛門ト申ス和父ノ知行内百石ヲ
光之公御代ニ寛文年間ニ病死ス跡ハ男子ノ内ニ
在ル御仕ヲ今ノ長右衛門ニ伝ル
立花長右衛門
先祖ハ宗茂ト共ニ筑紫ニ居ル父右衛門ト同年ニテ筑紫ニ居ル
立花宗茂ニ従ヒ寛文二腰ヲ元ニ居ル
十九年ノ時宗茂ニ従ヒ京都ニ来ル
右之公ニ仕ル　光之公御代ニ百石ヲ扶持
隠居ノ時ニ隠居料ヲ
長右衛門ニ下サレ元禄二ノ年死ス
馬杉左右衛門

[illegible]ハ生国江州瀬田ノ産ニ大力ニテ瀬田ノ
小男トヤハ和ハ一柳伊賀ニ[illegible]天正十八年秀
吉公伊賀ヲ没官ノ山中ノ城ヲ攻ケツ時伊賀ヲ[illegible]
出羽ヲ[illegible]墓下箱根山中ニ[illegible]伊賀ハ
内室和ハ如水公[illegible]ニテ[illegible]ハ
如水公和ハ[illegible]ハ如水公[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]ハ朝鮮陣ニ[illegible]
[illegible]ハ長政公[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
城ヲ[illegible]

申名[illegible]ハ[illegible]ヲ[illegible]降ヲ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ寛永十[illegible]年八十三ニテ
死ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]

伊賀中ノ夏

伊賀是菴和ハ大和住ス俗名ハ知不ヤハ大閤様ノ
大和大納言殿ノ一[illegible]ニ[illegible]
遊ヲ事トス　如水公[illegible]和ハ一柳伊賀ヲ[illegible]
天正十八年箱根山中ノ城ヲ攻ケ付伊賀
討死ノ内室和ハ[illegible]伊賀又伊賀ヲ[illegible]入ル
是菴ニ[illegible]ヲ墓ニ京都ノ是菴ニ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]ス　宗因公ノ正室ニテ　如水公正室ノ和歌
吉公ニ於テ仕ヘ中比義吉公ノ正室大ノ大納言殿ニ
仕ヘテ大和郡山ニ住シ義光ト称シ殿ト称シ後ニ
堀尾公ニ附ク給ヒ二万石ヲ賜ハル秋月ニ於テ金今ノ
甲列村ニ住宅ニ住居ス十四年ニ歳ニテ死ス
嫡子長一十九歳ニテ世ヲ去リ中和ヲ以テ中ル
源氏陣ノ別大江氏仕ヘ来ル
[illegible]
先祖ヲ思ヒ情ノ[illegible]ニテ赤松殿ノ人ニテ
[illegible]ヲ[illegible]ノ情別ニテ仰家ニ仕ヘ

長政公豊臣秀吉ノ時中納言ニ成リ筑前ノ国ニ於テ
[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ　如水公ノ[illegible]
仕ヘ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ　聖福院様大
源院様ヒリカニ[illegible]ヲ[illegible]ヲ
正親[illegible]ヲ[illegible]ヲ　市ヲ[illegible]ヲ大坂[illegible]
正人[illegible]ヲ[illegible]ヲ　聖福院
秋ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ
市ヲ[illegible]ヲ　如水公ヲ[illegible]ヲ仕ヘ胡解陣ニ
長政公正位イタシ討死仕ヘ

白國八大ヲ

伊達角右衛門

先祖足軽組兵庫助儀ハ　織隆公御二男　御養
子相続之御事ハ　如水公之御遺命　如水公兵庫
ヲ以　忠之公御代ニ　武功ヲ顕ハ　如水公兵庫
忠之ニ　大国相続ハ外ニ御感ヲ被
蒙　忠之ニ　如水公より一万石ヲ与ヘ　長政公ニ従ヒ武功ヲ
ヲ以　朝鮮陣ニ付　長政公ニ従ヒ武功ヲ
長政公ニ　病気ニ付　上方ニ上り　温泉別境ヲ
病死　年ニ　三十三ヲ　ヲ　病嗜ヲ以　ヲ　ヲ
一万石ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ

三ヶ所ニ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
板兵庫ト　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
同塞ニ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
ヲ　ヲ　忠之公御　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
光之公御代ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
隠居ニ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
庫ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ

北條氏政江戸ヲ出シ給フ　上杉
弾正大弼殿ハ七百騎ニ成リ
車ヲ仰付ラレ陸奥ノ歩ヲ
国友和泉ヲ命ジ給ハレ　北条氏ヲ
浅山清三郎

浅山清三郎ハ小西摂津守行長ニ属シ朝鮮
渡海シ平壌城ヲ攻ル　摂津守ハ義弘ニ
代ル能役ヲ国ヲ　長政ハ加藤清正ト同ク朝鮮
先ヲ以テ三大将ノ一人ニ成リ武功ヲ立テ書ニ名
ノセラレ平壌城ヲモ抜ク　大身ニ成リ

朝鮮ニテ死セラレ浅山ハモ朝鮮陣ニ小西ニ分ケ
ヲ以又平壌城ヲ死ラシメ故ヲ以テ浅山摂津守
国ヲ京陣ノ別　家康公ハ関ヶ原ニ小西攻
関軍滅ニ仕ル浅山ハ徳ニ別ノ小西ニ手ヲ下シ
軍ノ後京大坂ニ来ル　義人ハ宇喜多ヲ
身ヲカリニ中ニ中ヲ　是ハ和泉守ニテ小西
今ハ義ハ和泉ニ　家康公ハ上ニ和泉ヲ
家康公ハ上ニ和泉ヲ命ジ　義人ハ和泉ヲ
肥後下ル清ヲ　小西ハ宇土城ヲ
浅山ハ母ヲ　義人ハ二ヲ把ト浅山

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

後に御ものがたりあつまり矢ごろ山崎地下人　長政ばかり
知り七百石にて　上　忠之公代出る迄長政代官
天守の出普請国奉行坂市兵衛殿と申仕
中ゑ出て六百人宛かゝりて三百人宛尾張後藤仕
御京陣に夜討仕掛来る筑前守首尾好に成る後
陣の後七百石出る那倉二郎右衛門又左衛
御京に夜討の時敵不申候内対馬殿被仕
成たつ西国浪人明石長左衛門と仕
きれたる御御御御御御坂清左衛門
忠之公出家なる中に長左衛門仕
奉公仕

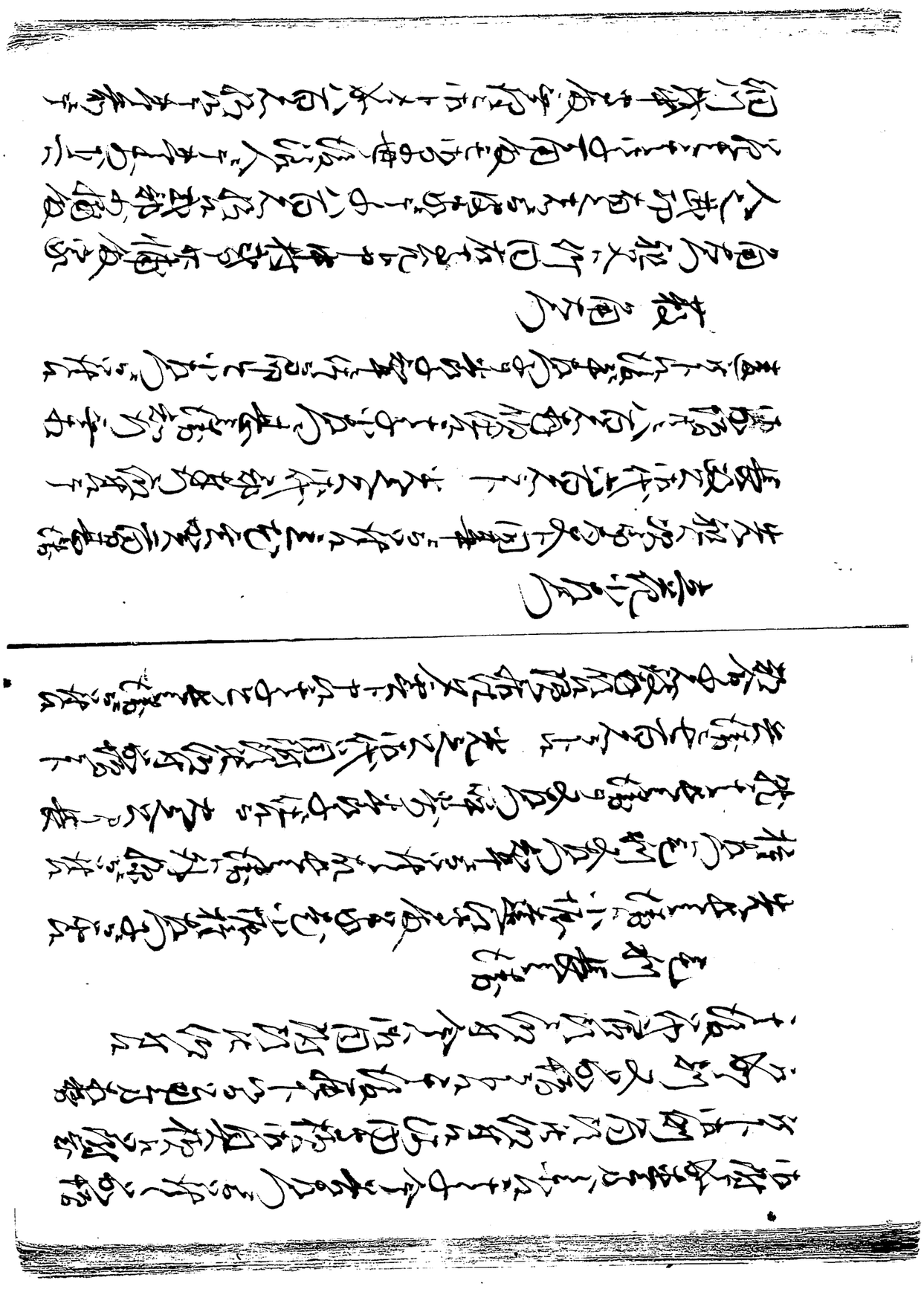
奉公仕たつる天下に浪人と御紀伊殿御家中
同じ時に御召抱おゆ御家中に御家中
御家中に成たる時に中村に成る
ちかりかゝりて中村に成る
市氣りめに中に三千人侍出る
侍に中村に又は成る
四百人上方に出物に中村に成る
奉公に御召抱に中村に成る
百上に御召抱に中村に成る
御家中に成る

光之公御代に成られ候ハ
ば男子幸ひ有て御国乃御繼ぎ
子に成られ十歳に成られ候ハ
ば

村山角左衛門

村山角左衛門初年松金平と申て能者
故今度御供人三十人十三歳に成られ候
右仕来朝鮮陣に御お能お召被遊 長政公
御前に通り出て舞ひ給ふ時分
豊前に来り給ふ仕来なり 黒田合戦に
軍に御出陣遊ばされ候ハ
婦子共を為人質 忠之公御代に成られ二男七郎兵衛
三百石を以て大力に成られ 忠之公御代に
附属仕られ 光之公御代に郡奉行に
かゝり下郡合戦に成られ 忠之公御代に郡奉行
仕られ候ハ 光之公御代に成て又御用附属仕
仕られ候ハ 黒田軍に御出陣遊ばされ
御奉行に御出陣遊ばされ
御代に成られ 光之公御代に成られ角左衛門
仕られ候ハ 光之公御代に成られ角左衛門
後に成られ候ハ 光之公御代に成られ
庄屋長左衛門

先祖以来お地侍ニ而ハ井手左衛門尉
下れる兼陣ニ毛利伊賀守ハ
出雲国ニ下郡合二百石宛
行有後ニ御ニ法事中無拠仕
ハ大坂ニ籠城ハ
ハ
加賀ニ二百人ハ
ハ
二百人ハ
ハ
百石ニ下ハ例百姓ハ
郡合百人宛ハ
ハ
同断ハ
ハ
ハ



死ハんとすと雖帰国すべきの事なり、於て義経道中
村或ハ宿駅ニ五十人百人ハ集り来り武功をたて
義経公中国下り給ふ時、箱根の山中ニ義経
箱根の山中ニ城郭を構へ、別当村長門ニ義経道筋
出張致スなる名代ニ対面致し、却て帰り失ス
小田原ニ義経本陣ハ文ちゃ中ニ
義経公ハ本陣ニ入り、貝ニ吹れ却て帰ると
上ニ乗上ケ、義経公ハ中ニ下ニ降り給ふ
ケトハ長門道御迎ニ来ニ参り給ふ長門
道ニ宿泊ス中村或ハ長ニ別当の元

京都ニ法人住す細川屋敷門道ニ来ル石橋
大隅ニ二人ハ法人住ス大隅ハ氣ふ人ニ
ハ人ハ門道ニ行ト云ふ義経又右馬元門道ニ
二ヶ月ハ門道ニ逗留致ス義経ハ
母ハ腰弱ニ成ル故ニ妹ニ成ル義経
門道ニ出ル仕度ハ名ハ乗ハ十ハ
ヨリ寝ル下ト知ル故ニ義経門道ニ行ル元
新額紀州ニ居ル義経又ハ遺言ニ成ル義経
母ハ義経ハ紀州ニ来ル故ニ力ハ居ル
義経十三歳紀州大納言様ハ義経

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

長田源右衛門

長田監物和泉長田三郎右衛門ハ共に伊勢ノ国
住人長田太郎ハ京ノ住家人長田右馬ノ助ニテ
保元元年八月十五日ノ夜京都ニ長田右馬ノ助
義朝ノ命ニ応シテ東国ニ下リ行ケル
人々ハ皆ナ東国ノ者ニテ義朝ノ恩ヲ蒙リ
如水ノ豊後守ノ判官ノ城ノ麓ニ義朝
ノ方ニ参ル所ノ者ハ皆ナ討死ニシ
三郎ノ子孫ハ生ノ者ハ
三郎ノ子孫ハ生ノ者ハ遠国ニ流サレ
長政ノ代ニ成リ

所ノ都合一万石ノ領地ニ三郎ノ子孫ハ
合三百三十石ノ領地ニ住ス中比ハ長田伯耆ノ守ハ監
物ノ名ヲ名乗リ寛永十六年ノ頃京城ノ下ニ
刑ノ失ヲ犯シ成敗ニ及ブ六十三歳ニテ
三郎ノ父ハ同ジク討死ニ
住家ノ中ニ忠ノ人ノ為リ失遁ル
ノ父ノ命ニ応シテ遠国ノ
病死ス子孫ハ
ノ男子ハ

忠之公より久後に仕上せられ知行に出られ者婿
と成後家を取られ死去に成後次男なるに故
跡を為し盛物より次男なるを三代に仕申
久世半三郎
父母なるに久世大和守殿に親族なれば　忠之公
御代に召出され御小姓に成尾張様へ
御奉公百人扶持に成御合千石に百人扶持に成る迄
長く仕られ今に御三家に仕れ
小林宗右衛門
小林甚左衛門宗右衛門御家人にて浅野宗室
滅亡の後浪人となり居られ豊前に成られ
如水公に成後御隠居に成られ紀伊谷に御下り
仕られ子内匠　忠之公の御時に付出仕され
人となり大坂に御死仕られ内匠子新右
衛門と成られ御出家となり此時に利髪仕彼境に御新
第に成られ新右衛門に成られ　光之公御代に
御暇に成られ居られ空心と成られ空心子今に居
今甚左に当孫にて代々に成られ
熊沢八郎左衛門
三郎左衛門父子共に本寺に成居られ

ভারতবর্ষের সর্ব্বত্র এবং বিশেষতঃ বঙ্গদেশে বিদ্যাচর্চ্চা ও শিল্পচর্চ্চা যে কিরূপ উন্নতি লাভ করিয়াছিল, তাহার সাক্ষ্য প্রদান করিবার জন্য এই সকল শিলালিপি ও তাম্রলিপি বর্ত্তমান রহিয়াছে।

বঙ্গের বিদ্যাচর্চ্চা

বঙ্গের বিদ্যাচর্চ্চা সম্বন্ধে আমরা কিছু কিছু জানিতে পারিয়াছি। বঙ্গের বিদ্যাচর্চ্চা সম্বন্ধে আমরা যে কিছু কিছু জানিতে পারিয়াছি, তাহার কারণ এই যে, বঙ্গের বিদ্যাচর্চ্চা সম্বন্ধে কিছু কিছু লিপি বর্ত্তমান রহিয়াছে। বঙ্গের বিদ্যাচর্চ্চা সম্বন্ধে যে লিপি বর্ত্তমান রহিয়াছে, তাহার মধ্যে বিক্রমপুর-বিজয়পুর-নিবাসী বৈদ্য-কুলোদ্ভব শ্রীমদ্ভট্টাচার্য্য-বংশ-প্রসূত

幸にして迎撃に成功せば
御旗を奪ひ取り
三百人の信玄に与せる
仕合旗を奪ひ
源助を殺し
信玄の下大将を生捕
敵を追ひ
勝を頼み御旗を
竹中半右衛
竹中主殿助
省き申す　春さ

御入り不申
信長さまの御
恩に
十蔵
申頼
信長
公
信長
ヒツ
申不

春さ　春さ
様中　と人数
春さ　春さ
様
人質
春さ
様中
春さ
様
数
様
様
様

春ニ至リ長政公ハ遠ク岡崎ニ隠居シ嫡子清長ハ
スデニ病死ニテ其ノ孫右ノ助由松ヲ清長ノ養子ト
為シ　長政公ハ外出ニ出ル時ハ丹後
殿二男ニ当ル右ノ助ヲ召ツレ歩行ニテ出ル事ナリ
長十七年ニ成リ十三ノ時能ク出来ル故ニ右
ノ助ヲ為ス事ニ成リ寛永十七年二月廿七日ニ花房
ノ職政ノ付　忠之公ヨリ本丸海ノ棟ニ在主
膳正為家ヲ使ニ遣シ前ノ夜ヨリ板ノ間ヲ
都合三十八人毎日交代ニ六十二歳ニ成リ中ノ
ヲ以テ家ノ中ニ居ル者ハ今ノ所ニ居ル者ハ

竹中久左衛門

其方ハ花房ニ代ル先祖同年ニテ居ル

花房伝左衛門

先祖花房職治ハ備前宇喜多殿ニ二百石ニ成リ
其時ハ花房志摩守和泉守中納言殿ニ
成リ其時ハ宇喜多殿ト和泉守同列ノ家ニ
今ハ親戚ト成リ関原ノ時　家康公ヘ召出サレ
千石ニ成リ其時ハ花房又左衛門　長政公代
百石ニ成リ其者ハ長政公代ノ中ニ在リト居村
正ニ居リ小坂久左衛門ト云人同村ニ住ル法名ニ十三ニテ死ル

[illegible]
吉三三十一[illegible]早世仕婦子[illegible]
病[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

三宅八左衛門

父角左衛門肥後国加藤清正の臣にて武勇く
[illegible]
九十石無[illegible]三百俵[illegible]秩[illegible]

一寛永九年[illegible]
中に寛永八年[illegible]六歳肥後にて病死[illegible]
[illegible]
九十石八[illegible]
[illegible]
[illegible]
大津[illegible]
[illegible]
[illegible]

ᠵᠠᠭᠤᠨᠳᠤᠯᠠᠭ᠎ᠠ ᠳᠤᠮᠳᠠᠳᠤ ᠬᠡᠯᠡᠨᠳᠡᠭᠡᠳᠦᠨ᠎ᠳᠦ᠃

ᠬᠣᠶᠠᠷᠳᠤᠬᠠᠨ᠎ᠳᠤ ᠨᠢᠭᠡᠨᠳᠡᠭᠡᠳᠦᠨ᠎ᠳᠦ᠃

ᠬᠣᠶᠠᠷᠳᠤᠬᠠᠨ᠎ᠳᠤ ᠨᠢᠭᠡᠨᠳᠡᠭᠡᠳᠦᠨ᠎ᠳᠦ᠃

ᠬᠣᠶᠠᠷᠳᠤᠬᠠᠨ᠎ᠳᠤ ᠨᠢᠭᠡᠨᠳᠡᠭᠡᠳᠦᠨ᠎ᠳᠦ᠃

ᠬᠣᠶᠠᠷᠳᠤᠬᠠᠨ᠎ᠳᠤ ᠨᠢᠭᠡᠨᠳᠡᠭᠡᠳᠦᠨ᠎ᠳᠦ᠃

小河武清

小河長門豊前取り立て仕る時分大方大身に成り
八百石ばかりの藤に落ち候仕り数度無功に成り
長政公御外御成遊ばされ候時分脇小河
久右衛門脇ばかり仕り申候ものにて御家の
為藤陣に参られ申候ものにて
ござ候様子利勝様御心ばかりなる武清
宮内右衛門
殿様方御使番仕り候中間衆家人長谷様
上り申刑部人仕り候御家人
朝鮮に牧使と申す大将の首を切り申候者に
賞ケ原落ち後浪人仕り
候間御方へ参り述懐仕り
地下赤坂申候小藤に仕り
忠之公に出三百人ばかり
首尾御新の角申候
ござ候今の十郎左衛門
河村五郎左衛門
先祖申候御使番中比毛利左衛門家
人に成り豊前小倉七百人九郎様仕り

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ગીત સંગ્રહ

૧ ગોકુળ ગામ ગોપીનાં ગોરસ ગોરી ગોરસ ગોરી ગોરસ ગોરી

城攻ノ付薩摩ノ毎ニ切ヲ刑ニ去ラル裁判仕始義
摩毎ニ大和分伊集院ニ入ル後仕ル後ノ物作
麓ニテ知リ子ニ百石ヲ与ヘ殿御下ニ出ル工夫
ニ後ハ光ヲ中ル刑製仕ル心所ヲ中ル　忠之公
船舟ヲ市ニ子ニ新設仕ル後ノ京陣ニ出ル寛
永十八年八十三歳ニテ病死仕ル嫡子ニ百石ヲ惰ル
ル中ニ仕ル二男ニ殿後継ヲ中ル　忠之公君
ヲ中ル仕ル二男ニ殿ニ子ニ新先ニ男子ニ生
井上九左ヲ子ニ生ル光ヲ知ル殿御中ル子
今ノ孫九郎ニテ中ル

馬場佐左衛門

馬場佐左衛門家

三郎ニ生ル心ヲ伝ル家ノ方
名字ヲ名ル

足田伊予亮殿

初ノ名ハ長右衛門ニ利製ニテ善ル心ヲ長　宗因公ノ三男ニテ　如水公ノ伝ル
正ル後ハ　如水公ノ伝ル　初ノ長右衛門
十七年ニ十二歳ニテ死ル　ニ子ニ嫡子伊予ノ次ノ新ル
四之後伊予十九歳ニテ病死仕ル故伊予ノ弟足田市ニ清
三郎ノ名ヲ市ニ清ル京陣ニテ首尾好ノ為ニ成ル仕ル
大百人ヲ中ル　光之公ノ代ニ又ル加ル百石ヲ賜ル仕ル
四千石ヲ十九ニ子ニ足田市ニ市ノ子ニ足田市ニ清

[illegible]

毛利甚兵衛

毛利但馬初名毛利元清ト云ハ[illegible]ノ[illegible]ニ[illegible]ノ代ニ[illegible]ノ儀ニ[illegible]書ニ[illegible]ト[illegible]毛利ト[illegible]ハ天正五年　春ニ[illegible]ノ[illegible]ニ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ

忠之公御家督ニ御合戦御法度大坂ニテ死ニ仕ル方近頃
ヨセ来ル　大之公ニ意ニ応ジ五百人ヲ以テ堺ニ詰ル
谷宗菴ト申ス者ヲ召ル刑罰ヲ加ヘラレ居ル者ニ
清ヒ三代ヨリ甚ク清ヒ六歳ニ成ル近隣ニ清原陣勤ル

小河専右衛門

内蔵允初ハ長兵衛ト申ス内蔵允祖父英保次郎左衛門
宗国ヨリ以来清原姓ニ陣ヲ勤ル次郎左衛門
ヲ次郎ト内蔵允ヲ次郎ニ改ル当家ニハ
ヲ以ル仕ル内蔵允母小河伝右衛門
死ル内蔵允三歳ノ時母ヲ小河伝右衛門
伝右衛門ヲ本懐ヨリ出ル当家ニ御ヲ仕ル朝鮮
陣ノ刑　長政公出陣ヲ示ス能泉ト申ス○矢塚
出頭ヲ谷宗菴ヲ示ス大勢人数万ヲ以テ岩本川
迄ヲ申ス谷宗菴ヲ示ス元類○柳井ヲ表ニ出
感ヲ谷宗菴ヲ内出ル人物見届ル上ト申ス一番ニ
中ヲ名護屋ニ帰ル谷ヲ以テ朝鮮ヲ対馬ヲ
病死仕ル高麗ヲ信ル毛利ヲ仕ル内蔵允ヲ伝ル
長政ヲ出ル三谷ヲ伝ル軍ヲ小河ヲ以テ此英保
ヲ改ル小河ヲ名乗ル内蔵允人ヲ大智ヲ
思ヒ来ル万ヲ正直ニ成ル　長政公出国ヲ出

仕官不仕官ニ付　長政公ノ家来　忠之公御代ニ
職ニ御付ケ一万二千石ト云ハレ　忠之公御代死去嫡
子清長御跡ニ平左衛門ト申ス　忠之公御代家老ニ
先之公御代初ニ御指図ニ付外様ト申ス
平左衛門事国人ニ清小河清左衛門ト云ハ
平左衛門子ニ御座ト申ス　清左衛門ハ世伝ニ付別ニ平左
子ニ平左衛門ト云ハ　清左衛門ハ寛永ニ病死ス
元和ニ平左衛門ト云ハ　清左衛門ハ次男ト云ハ
当主ニ仕ル　外ニ今ノ平左衛門ハ　内記ト云ハ
下ニ世伝ニ次第ニ三代父子ノ次第ハ家ハ代ノ

梯權右衛門

梯權右衛門ハ　志方ノ様ニ御暇ニ
如水公御奥様ニ付　平病院様ト申ス病院
様ニ付　京ニ逗留ニ　御ハ
才七ニ子ニ二十ニ付　御ハ
寛永ニ死ス　忠之公ニ
執權ニ御付ケ　忠之公ニ
御付ケ　御暇ニ
弟ニ清ニ七ニ清　御付ケ

林　平左衛

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五百人動ク所ニ共ニ出ル二族ノ村落ノ者ト
六百人ト那合シテ六百人可有ノコトクニ成合ケ然ル所
死セル住ノ子知ノ子ニ那合ケ成ル知ノ子ノ百人ニ上テ
タルヲ動ク所ニ毒ノ三ツノ人ニ注ル知ノ
忠之ノ代ニ自附ル仕ル知ノ子ノ者ト中ル後知ノ
中ル知ノ三百人ト中ル注ル迎ル大組ル仕ル者ノ
今ノ新ノ者ニ付ル

飯田孫左衛門

先祖角ノ者ハ加賀ノ市家人ニカリレシモ武勇ノ
有ニテ肥後ニ住ル肥後ニテ五十二百石ヲ給ル六十八歳ニテ終

肥後天草ノ役死セシ子孫左衛門ノ役ノ時ノ勇ヲ賞
永九年當国ニ来リ栗山大膳亮ニ出ル
百石ヲ給ル長崎ノ役人仕ル中ル寛永十
忠之ノ代ニ百石ヲ給ル子ノ百人ノ者ト
角ノ者ト役ル中ル後ル大組ル仕ル者ト
軍ノ所ニ大ノ役勤ル中ル六十八歳ニテ死ル子
孫左衛門父ニ二ツカ二十二歳ニテ役ル子
無ノ者ト中ル先ニ大組ル仕ル後大組ル仕ル
限ル仕ル宗本ト中ル婿ノ子角ノ迎ル
子孫左衛門ニ宗本孫左衛門ト中ル

[illegible]

[illegible]

[illegible]

勅又武州ニテ郡内六百石取仕候
中トヤハ七十六歳ニテ病死仕候其子ハ兄弟
ナク三男ノ者ニ仕御九郎政武ト云ハ二度
快悦トヤハ三度ニ成ル其者モ素伯ニ成リ者ニ仕ル

小河八郎左衛門

小河ハ情列ニテ武勇ニ仕武功ニ嘯ク
ナク本朝鎮武功情ヤハ長地ニテ病死仕ル男
勅ハ三度高手ハ高手孫ハ高手ハ長
御意ニ見ル武功ニ成ヤカリ候ハ久人名ヲ附
ル関ヶ原ノ刑十六歳ニテ　長政ニ仕ル決合

決ニテ三百石仕ル入国ノ時六百人ニテ三度ノ時ハ
合ニ人毎度仕ル近習ニ成リ仕ル
字ヲ名ヲ政長ト云ハ　悪ニ御代ニ仕ル
郡合二千ニ百人毎度仕ル京ノ刑ニ名ヲ織部
トヤ是程大ニ仕ル利長仕宗ニテトヤ宗
三ニ子三百国小河捨扶ニテ子ハ三ニ情ニ仕リ
七百石ヲ仕代宮ノ町ニ居ル仕ル御中ハ
子今ハ八郎ニテ三河ノ代ニ成ル

田代五左衛門

外記御名ヲ七生国ハ花坂　ニテ中ハ情度

[illegible]百石[illegible]おこと下りし初知二百石[illegible]下し給ひ代代仕おき[illegible]
[illegible]石下寛永元年[illegible]
千石[illegible]仕[illegible]　甲州別[illegible]
八歳[illegible]於[illegible]月[illegible]
[illegible]月[illegible]
[illegible]六郎[illegible]
[illegible]
[illegible]

田中[illegible]

[illegible]元田中[illegible]一族[illegible]家人[illegible]
[illegible]領[illegible]小城[illegible]領[illegible]
[illegible]寛永十三年[illegible]　忠之[illegible]
[illegible]代[illegible]
[illegible]父[illegible]
[illegible]

大隈十左[illegible]

[illegible]　長政[illegible]代代[illegible]
[illegible]　忠之[illegible]代[illegible]
[illegible]　光之[illegible]

七左衛門後に権之丞と称し、和行の次男にて中老を勤め、
竹腰主税事一学と称し、天保二辛卯年家督を相続
し世禄二百石を賜り、嘉永元申年隠居
和行に先立て死去、其時男子二人有り、嫡子を
和行の次男にて大組に仕え、明治十年歳十五にて卒す

河村紀夏

先祖は河村右馬助と同じく清和源氏にして、
紀夏の次男にて、先代一学の養子となり、
江戸詰人となり出世し、次男郡代に任じ、百人扶持
出る迄に任ず、主税名を改め、一学と称し、
主税の次男にて、大組に任ず、明治元年迄
仕え次男にて、紀夏と称し、家督相続の事書附内にあり

国清左衛門

国和の先代、伊勢の国の人にて、紀州藩に仕え、長政
左衛門と称し、和行の次男にて、天保二年卯年
八歳にて、主税の養子となり、嘉永元申年
家督を継ぐ　文政五壬午年生　父の孫にて、
御代官に任じ、百人扶持を賜り、大組に任ず、明治
元年に任ず、主税大組に命ぜられ、
隠居す

熊沢重左衛門

四月廿四日 [illegible]

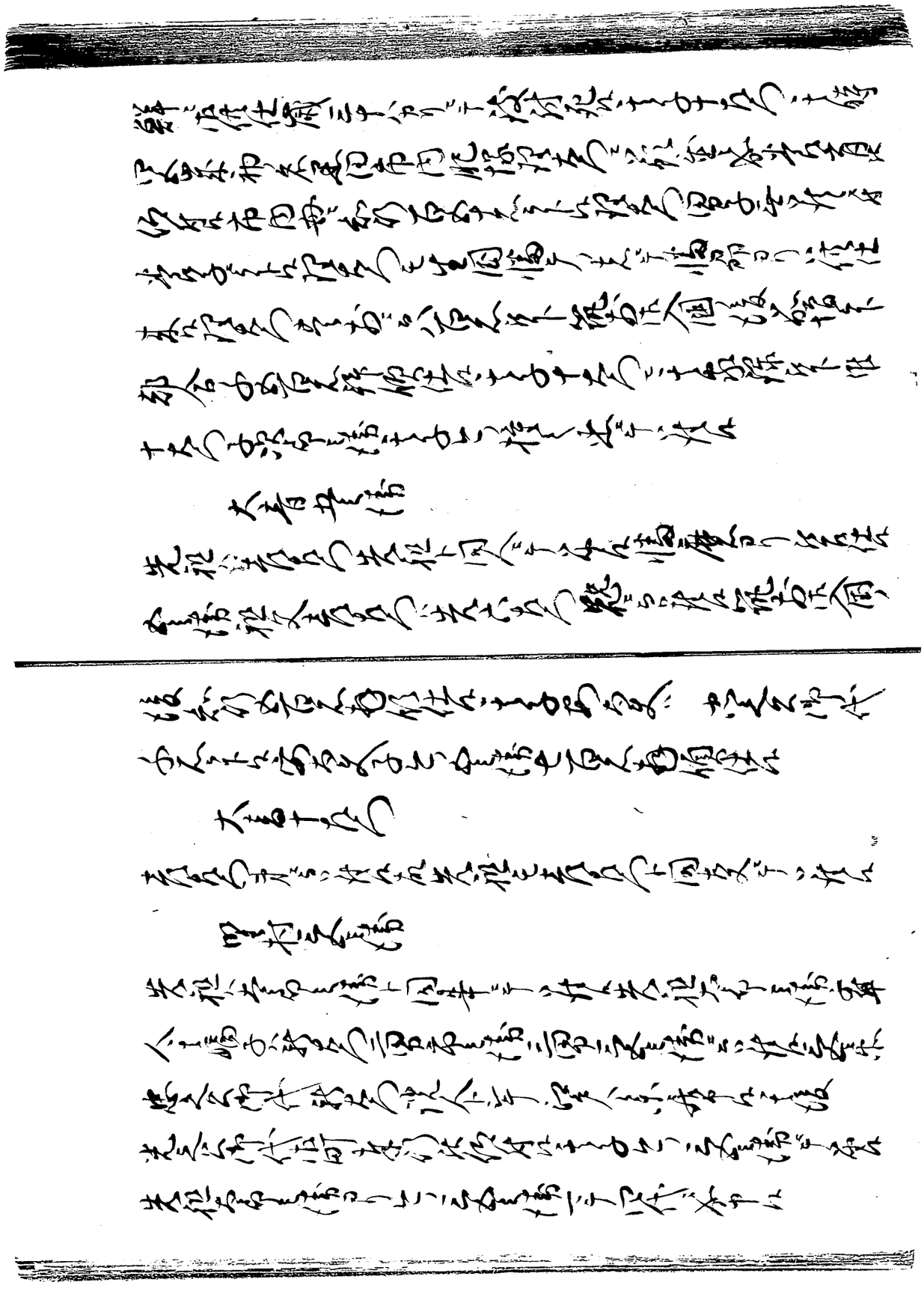
[illegible]

四月廿五日 [illegible]

[illegible]

四月廿六日 [illegible]

[illegible]



加賀九代

先祖ハ加賀守ニ任シ忠十郎国春ニテ加賀守書端ニ
殿御邪魔信ノ付タリ中ニ百人ヲトリ上ケ
ヒ九代ニテ殿御年ハ忠之助九代
子ハ今ノ加賀守ヲ名ニテ
本附三御百人

祖父義方ハ豊後ノ産歌大友家ノ人ニテ本附ノ御
由大友ハ之ヲ上ル板坂法人京都ニ居ル　長崎ニ死ル
人間ハ板ハ左ニ義方ハ俗ニ○ヲ名ニ
カワヨリ大男ニテ性ハ御意ニ適ハ信ヲ仕ル京都

報恩寺ニ御遊ノ節方ハ着物ハ仕ル乱入ス
常ニ御信ヲ仕ル　忠之ハ御代ハ
毎御代ハ長代義ハ御様代ハ執権役ヲ
御ヲ情成　忠之御ハ
大日様ノ付合ニ抑ヘ合ハ下ノ
殿ハ今キ御様ハ
御代ハ二十カ
御屋敷ニ萩尾村ニ
忠之公御ヲ情ニ成ス
毛無知ノ百人ヲ

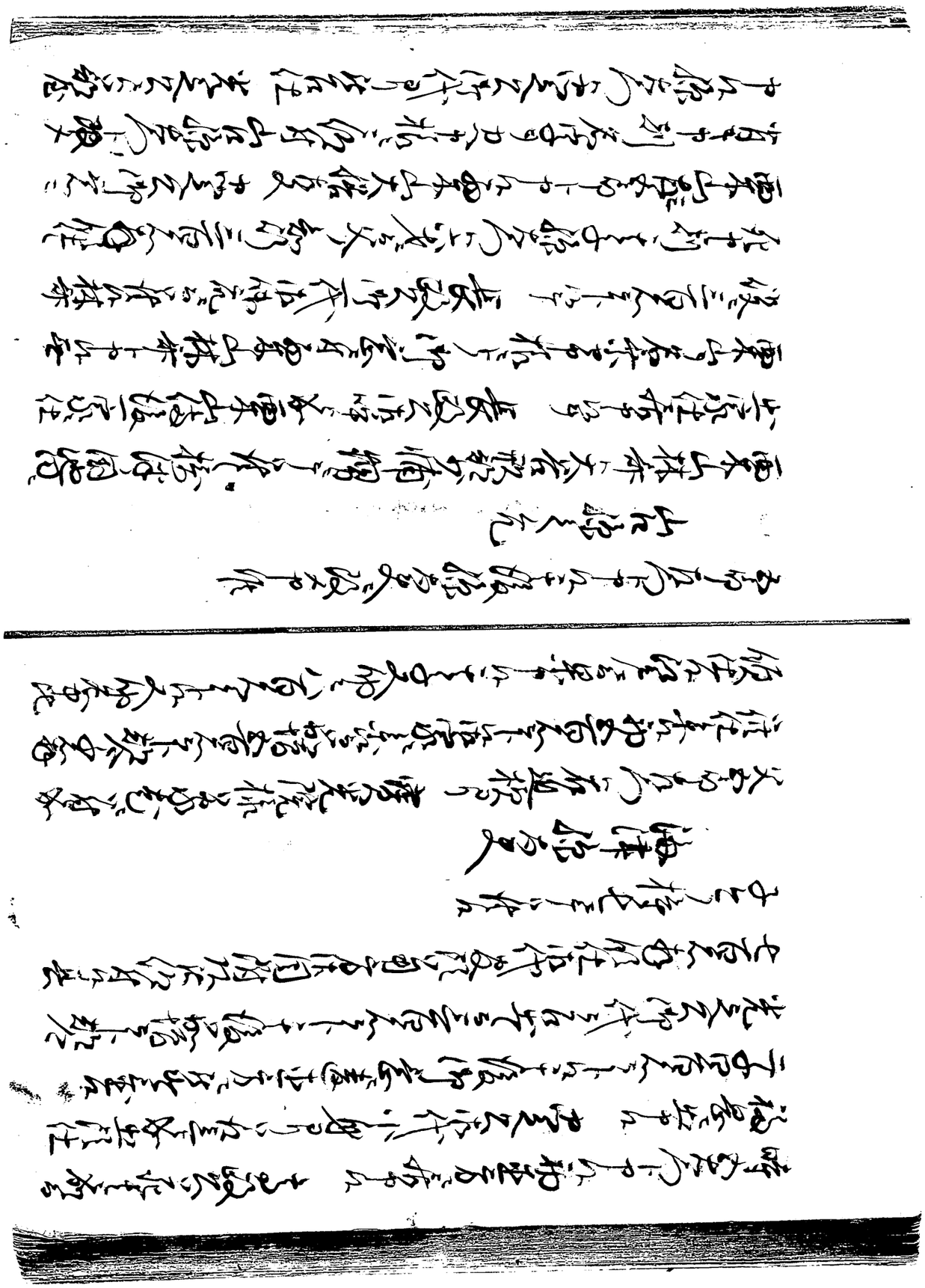
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

光之公御代に被召仕候儒者にて候郡司
長右衛門殿仕休栖と申し休栖子に御座候
岸田文左衛門
岸文左衛門と儒者又三郎と日本流儀家人にて候
元来近江者にて候流儀にて候
後御家に儒者流儀にて候 忠之公御代
[illegible]
岸文左衛門 大学[illegible]
縣 久左衛門
祖父久兵衛に元来肥後にて長政公御代
御国に来り仕新[illegible]
深[illegible]儒者
祖父[illegible] 忠之公御代 養老院様に附置
忠之公御逝去の節刎殉死仕[illegible]
三百[illegible]
儀[illegible]
祖父京伝儀初八賀[illegible]珠山[illegible]先祖より當国上[illegible]郡[illegible]
国の京[illegible]
珠山[illegible]
[illegible]

先[illegible]
[illegible]仕休栖トヤハ休栖子ヒ[illegible]

岸田文左衛門

[illegible]

元来近江[illegible]

[illegible]

[illegible]

縣　久左衛門

祖父久[illegible]　長政公御代

御国[illegible]

深[illegible]

祖父[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

祖父[illegible]初ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二[illegible]　長政之城井ニ[illegible]神ニ[illegible]

武功[illegible]　如水之家人[illegible]

[illegible]

[illegible]

伊豫二[illegible]

[illegible]

[illegible]

元[illegible]

養子ニ[illegible]

庄野十左衛門

先祖[illegible]

[illegible]

毛屋武蔵

毛屋武蔵初名[illegible]

[illegible]

[illegible]

下に先古より付属[illegible]飛騨守殿と尊津に於て
二万石下に氏郷元来武勇力武功の誉れ[illegible]武
郷の兼領の概[illegible]名[illegible]文[illegible]ふ[illegible]れ[illegible]と[illegible]四国の威[illegible]
万石一郡[illegible]万石家[illegible]ハゲシ[illegible]ハ[illegible]戦[illegible]
陣[illegible]おゝ[illegible]ハ[illegible]戦[illegible]
長[illegible]仕不[illegible]名仕[illegible]
[illegible]
[illegible]

長久秀吉ニ敵仕候ニ付而ハ殺害被仰付候ニ付而ハ孫太郎ハ出家ニ成
長中お伽名字ニ付而ハ小宮山ニ成候ニ付而ハ
孫太郎ハ　忠之丞ハ出家ニ成ハ
後百人ハ加賀都合二百石毎年ニ被仰付
子今ハ孫ニ成ハ孫太郎ハ孫ニ成ハ代々
宮原新三郎

又四郎ハ　忠之丞ハ代中相ニ成候ニ付而
次太郎ハ　忠之丞ハ新三郎ニ成候ニ付而
其ニ付而ハ代中ニ成ハ

子ハ　御年ハ五陣中相動ハ
陣ハ後ハ代中ハ二百石毎年ニ成
ハ又ハ成ハ毎年ハ加賀百人ハ
陣ハ代ハ代ハ六百人ハ
下ハ　忠之丞ハ後名一ニ扈ハ
細江文太郎

先祖ハ　忠之丞ハ元ハ細江
大坂屋家ハ成ハ大坂屋滅亡後　長久秀
其ニ付而ハ代ハ三百人ハ
生ハ　代ハ代ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天皇[illegible]

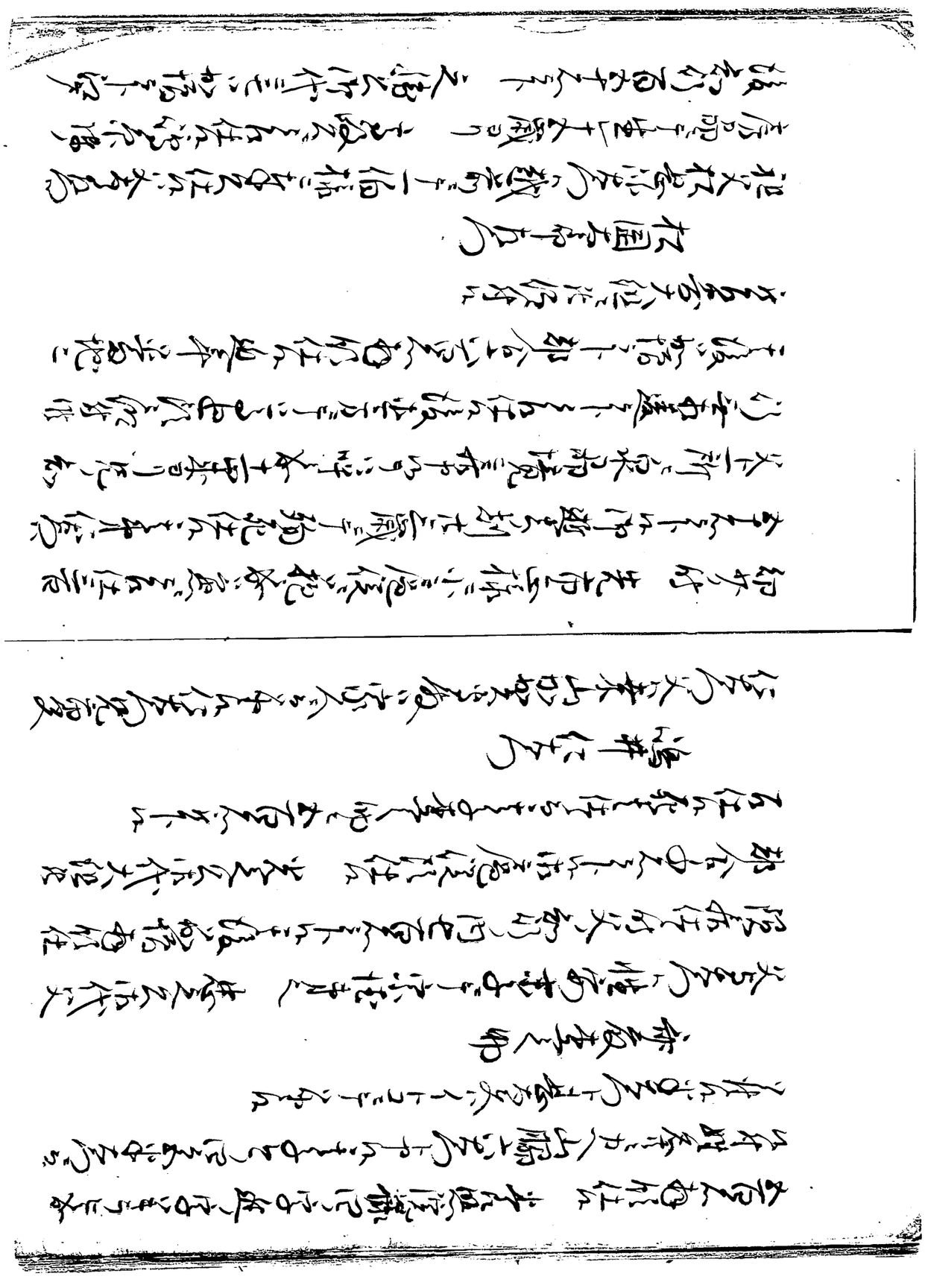
[illegible]

[illegible]

忠之公ニ報ス為ニ保田平和ヲ抱英氏ヲ
殺ノコトヲ申入ル大久保大和ヲ大使ニ立テ元保
二年ニ今年二歳ニ死セリ仕ル元保ノ子和ヲ清ヲ
　　秋山三郎兵衛
先祖清ヲ初ル仕ル代々ハ代々ヲ父代々ヲ
兵法ヲ伝ヲ代々ヲ一流ヲ学ス清ヲ屋敷ヲ
武州ニ居ル板倉正ニ仕ル板ヲ三ヲ人清ヲ其
子清ヲヲ初ル板倉正ヲ長ス長忠庵
幼少ヲ付ル屋敷ノ前ヲ家中入ル
ヲ人ヲ宮ヲ入ル清ヲ家中ヲ入ル仕ル

清ヲヲ初ル人ヲ為ヲ者ヲ附寛永八年板倉
改易ノ後清ヲ人ト成ル肥ヲ唐津ニ数年ヲ寛永
十二年　忠之公ニ召ル出ル二百人ヲ板倉人ヲ
光之公ノ時ノ付ル郡屋敷ヲ人ヲ為ル
養ヲ無院様ヲ家ヲ子相続ヲ出ル
ト付ル代ヲ十人肥後ヲ清ヲ二百人ヲ
武州スクレ元ヲ為ヲ角ヲ為ル仕ル
清ヲ仕大ヲ赤ヲ角ヲ為ル仕ル
ヲ清ヲ仕ル為ヲ為ル
八ヲ代ヲ代ヲ清ヲ仕ル代ヲ

[illegible]
[illegible]
[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

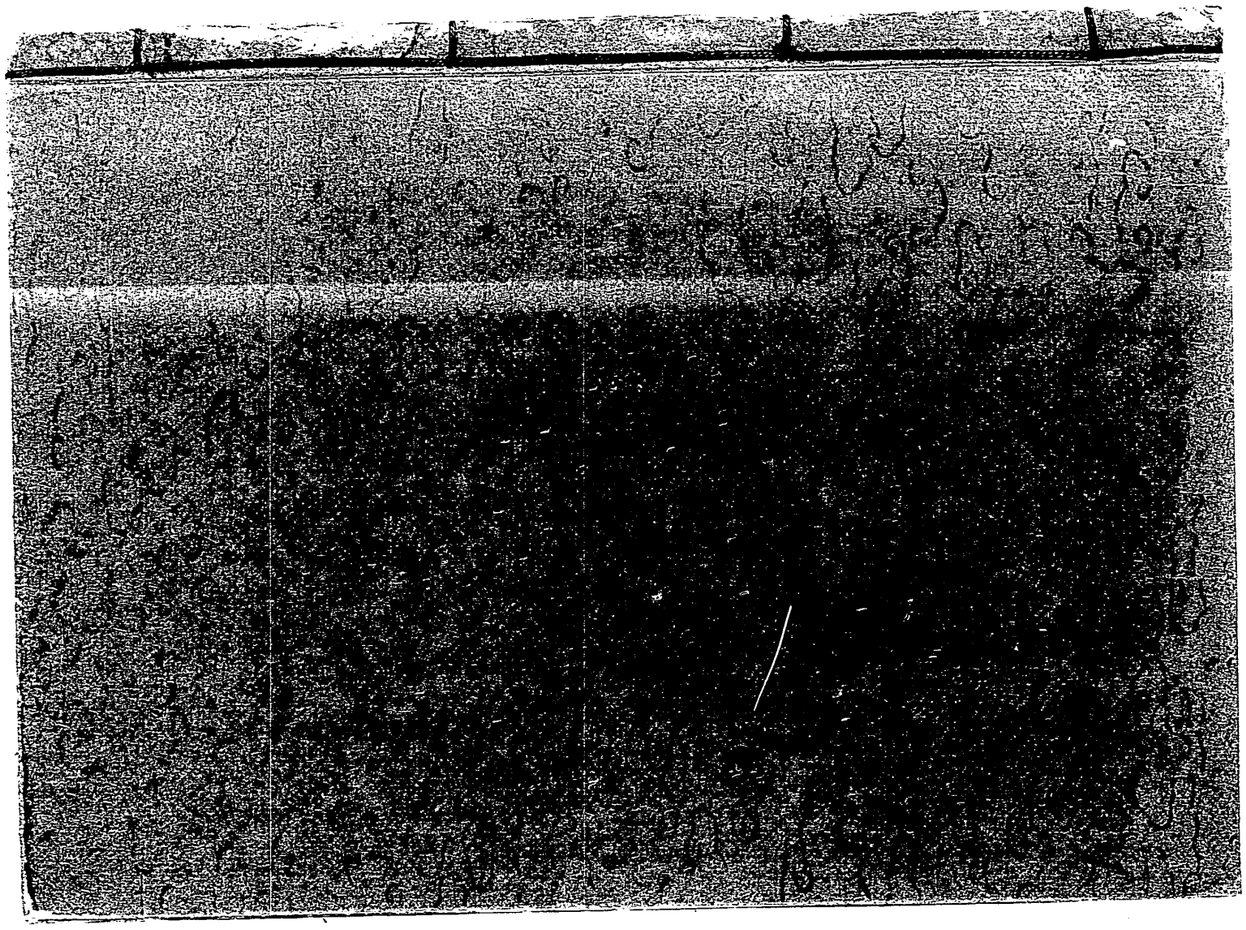
ভাবনা

ভাবনা হচ্ছে মনের একটি অবস্থা। মানুষের মনে নানা ভাবনা আসে। ভাবনা কখনো একা আসে না, দলবেঁধে আসে। ভাবনা কখনো ভালো, কখনো মন্দ। ভালো ভাবনা মানুষকে উন্নত করে, মন্দ ভাবনা মানুষকে অবনত করে। ভাবনা মানুষের ভাষা, ভাবনা মানুষের ভাব। ভাবনা মানুষের ভাবের ঘরে বাস করে। ভাবনা মানুষের ভাবের ঘরে বাস করে। ভাবনা মানুষের ভাবের ঘরে বাস করে

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

元録四年十二月中旬　貝原久兵衛謹記